

令和5年度地域学校協働活動推進事業費補助金（実績報告）関係様式②

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の種類1	課題の種類2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
小牧市	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	家庭環境により家で学習する機会がない、経済的理由により学習塾に通えない生徒に対し、学習する機会と場づくりをし、学習習慣を身につけ、基礎学力の定着をはかる必要がある。	駒来塾を必要とする生徒に駒来塾の情報が届き入塾してもらうとともに、中学に進学後、すぐに入塾ができる体制を整える。塾生の数に応じた学習支援員・学習サポーターによる学習支援の体制を整える。	駒来塾参加者の満足度を高める。	駒来塾での学習が、学習の定着・向上になっていると感じる保護者の割合（駒来塾参加生徒及び保護者を対象としたアンケート）	80	%	90	78	2 駒来塾参加生徒及び保護者を対象としたアンケート結果では、「駒来塾に通い始めて勉強時間が増えた」「勉強するのが楽しくなった」と感じる生徒からの意見もあり、駒来塾に対する満足度は高いといえる。今後も引き続き、駒来塾を必要とする生徒に入塾していただけるよう事業を進めていく。	http://www.city.komaki.aichi.jp/admin/soshiki/kodomomirai/kodomoseisaku/1/4/8/44424.html
小牧市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことを目指しているが、放課後子ども教室ごとに活動の回数や参加人数に幅が生じている。	外部のボランティアや有償講師など様々な従事者を活用するとともに、既存の放課後子ども教室と児童クラブが協力することで活動の幅を広げる。	各放課後子ども教室の活動回数の増加とともに、児童クラブとの合同活動する放課後子ども総合プラン実施校を増加する。	放課後子ども総合プラン実施校	6	校	12	12	3 本年度は12校で放課後子ども総合プランを実施し、令和6年度からは全校実施を予定している。引き続き、外部講師のボランティアや有償講師など様々な従事者を活用するとともに、既存の放課後子ども教室と児童クラブが協力することで活動の幅を広げていく。	http://www.city.komaki.aichi.jp/admin/soshiki/kodomomirai/kodomoseisaku/1/4/151/8375.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。